

新発売

# シンズイズ®

1キロ粒剤



ノビエ



ホタルイ



オモダカ

## 4成分が魅せる、防除効果の神髄

- 新規成分エフィーダ® (一般名フェンキノトリオン) 配合
- ノビエに卓効 (ノビエ3.5葉期まで幅広く使用可能)
- ホタルイ・クログワイ・オモダカに卓効
- 4成分で幅広い雑草を防除



※商品画像はイメージです。  
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標



エフィーダ® 配合  
問題雑草に広く効く!!

## 特長

- 新規成分エフィーダ®（一般名フェンキノトリオン）を配合した4成分の混合剤です。
- 発生前から3.5葉期のノビエに対して優れた除草効果を発揮します。
- ホタルイ、クログワイ、オモダカ等の難防除雑草に対しても高い効果を示します。
- 既存の4-HPPD阻害剤に感受性の高い飼料用稲等栽培時にも使用できます\*。

\*既存の4-HPPD阻害剤に感受性が高いとされる、やまだわら、とよめき、タカナリ、モミロマン、ミスホチカラ、ノバタキ、おどろきもち、ふくおこし、えみだわら、もみゆたか、みなちからに対し、エフィーダ®は高い安全性を示すことを確認しています。WCSIに関しては別途、稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルを確認の上、ご使用願います。

- 田植同時処理が可能です。


## 適用雑草及び使用方法

2022年1月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回*	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布

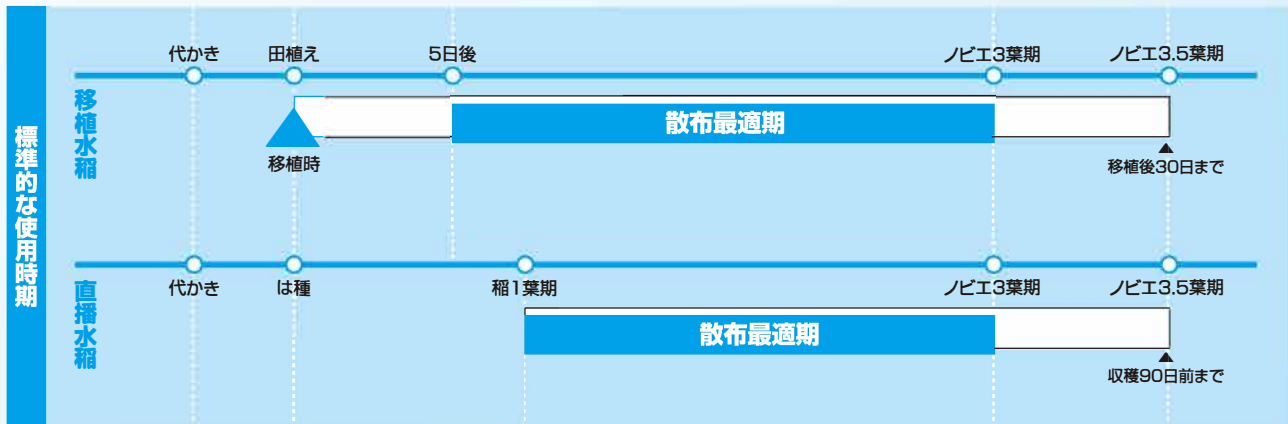
### 新規有効成分 フェンキノトリオン(エフィーダ®) について

フェンキノトリオンは水稲安全性に優れた広葉、ホタルイ防除剤で、雑草に対しては白化症状を示す4-HPPD阻害剤です。田植同時処理や鉄コーティングを含む直播栽培、飼料用稲品種等\*に対しても高い安全性が確認されており、水稲作の幅広い場面で使用が想定されています。



\*各有効成分を含む農薬の総使用回数:オキサジクロメホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、プロピリスルフロン2回以内、プロモブチド2回以内

## 上手な使い方



### △使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ヘラオモダカ、ウリカワは3葉期まで、ホタルイは4葉期まで、オモダカは矢尻葉1葉期まで、クログワイ、ミスガヤツリは草丈10cmまで、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
  - 活着遅延を生じるような異常低温の時

- 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
- 軟弱苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
  - 稲の根が露出した条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
  - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
  - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
  - 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
    - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
    - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
    - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
  - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
  - 水源地、飲料水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
  - 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。

- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するか、別途提供されている技術情報も参考に使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### △安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布の際は保護メガネを着用してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
  - 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
  - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
  - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記憶しましょう。

本資料は2022年1月現在の知見に基づき作成しています。 2071(22-1)